



第2号では治験コーディネーター(CRC)のお話を伺いました。
今回は、実際に**治験に参加した患者さま**にインタビューしました!!

参加期間と来院頻度

はどのくらいでしたか?

Aさん:参加期間は約14ヶ月でした。
来院は、始めは2週間に1回でしたが、すぐに1ヶ月に1回となりました。

嬉しかった出来事

Aさん:参加することで、**自分の病気や治療について詳しくなりました**。しっかり服用して数値がよくなっていくのは嬉しかったです。また、担当の方も親切で家族のように対応していただいたのが嬉しかったです。

辛かった出来事や困った事

Bさん:自営業なので時間に融通がつき易かったのですが、仕事に都合をつけて治験に参加するのは大変でした。ですが、仕事の予定に合わせてスケジュールを組んでいただけだったので、**相談しながら参加**できました。

参加者代表として一言

Aさん:新薬が開発され一般に使用できる迄には、いろいろの苦労があることを知り、治験がいかに大切かということを知りました。これから**同じ病気で苦しんでいる方々に少しでも役に立てたのかな**と思いました。

きっかけ

参加の**きっかけ**を教えてください。
Aさん:いつもどおり、診察を受けたときに担当医師から治験の紹介がありました。「**選択肢の一つとして治験もあるよ**」って。正直、医師の勧めだけれど、信頼する先生だからこそやってみようと思いました。

ぶっちゃんけエピソード

Cさん:来院時には空腹時血糖を測定するのですが、ついついいつもどおり朝食を食べてしまいました…。その時は、正確なデータが取れないということで、後日に予定を変更していただきました。

参加前のイメージ

Aさん:参加前は「治験」という言葉さえ知りませんでした…。未だ使われていない**薬を使う事の不安と抵抗**がありましたが、何か使命感のようなものを感じました。

参加後のイメージ

Aさん:参加して治験っていいなと思いました。検査からお会計までCRCさんが**付き添ってくれるので、安心感**がありました。薬剤師の資格を持ったCRCさんだったから家族の薬も相談なんかしてね。生活の事もお話しして雑談に花が咲いてしまうこともしばしばありましたが、今では**全部を通して楽しい思い出**として残っています。

3月27日(日)厚木文化会館にて市民講座開催!!

全国どこでも処方箋も受付致します。“安心・安楽・迅速”がモットーの“なかよし薬局”です。

Supported By なかよし薬局

2010年12月発行

船子店:046-220-6868

高森店:0463-90-2311

愛川店:046-284-2227

関口店:046-244-1011

愛甲店:046-248-7622

妻田店:046-222-2801

局前店:046-284-5200

恩名店:046-296-5533

酒井店:046-226-8222

Special Thank's:Aさん、Bさん、Cさん

Editor:さいとう

NEW!!